

鹿児島大学で実施された秋季学術大会におきまして、第2会場を用いて9月28日(金)12:00-13:00にランチセッションを開催し、学会の将来に向け会員の皆様からの活発なご意見を伺うことができました。以下にその内容を取りまとめ、学会としての対応策(理事会決定事項)をご報告いたします。

#### ランチセッションの取りまとめ

##### <男女共同参画・若手研究支援>

- ・経済的な負担を軽くする方策を検討する(大学や会社が導入している制度を参考にする)
- ・CPDなどのポイント制度を広く告知する
- ・学術大会時に保育所を併設する(例;地盤工学会)
- ・年齢制限を付けたセッションの新設できないか(Under30の様なもの)
- ・若手交流会を新設できないか

##### <会員は学科に何を求めるか>

- ・学会の特殊性、未来構想、地域性、社会性を明確に打ち出すこと
- ・誰もが参加できる(敷居の高くない)セッションを組み立ててほしい
- ・会員が使える共有フィールドが設置できないか
- ・科研費の共同申請システムは設立できないか

##### <会員制度のあり方>

- ・購読のみの安価な育休会員の導入はできないか(子育て中、退職者向け)
- ・電子雑誌会員制度は導入できないか(会費の軽減)

##### <国際化>

- ・国際化は推進すべき、資金の計画的な積み立ても必要
- ・若手に古典的名著や国際誌を読む教育をすべき

##### <共通意見・その他>

- ・事例紹介(参考:地すべり学会)、Under30などの新セッションの検討
- ・年会費7000円は他の学会に比べて安いので宣伝すべき
- ・索引やレビューを充実させて情報を引きやすくするシステムを作る
- ・若手には勉強の仕方も含めて丁寧な教育をする必要がある(レビュー等)
- ・寄付金を集める仕組みを作る、地下水学基金を設立できないか

以上のご意見を踏まえ、10月20日に行われた理事会におきまして、将来構想ワーキングを設立することが決定いたしました。ワーキングは今年度末を目途に会長あてに答申を出す予定にしています。会員の皆様からのさらなるご意見をお持ちしています。ご意見はメールにて学会事務局あてにお願い申し上げます。

(文責:丸井 敦尚)